

平成 23 年 8 月 17 日

報道各位

アジア発信の世界平和につながるガールスカウト活動 日本初！世界連盟最高のオリーブ賞を受賞

ガールスカウト大阪府支部が平和提唱事業として実施している「ミャンマー・スタディーツアー」。高校生や大学生ら次代を担う若者たちが主体となってミャンマーの子どもたちを支援する同事業は、今年、日本で初めて「オリーブ賞」を受賞した。7月に英国エジンバラで開かれたガールガイド・ガールスカウト世界連盟（世界 145 カ国、会員数約 1,000 万人）第 34 回世界会議にて表彰され、出席者（500 人）から祝福を受けた。



表彰台にあがる日本のガールスカウト

●オリーブ賞

ボーイスカウト運動とガールガイド・ガールスカウト運動の創始者であるロバート・ベーデン・ポウエルの妻、オリーブ・レディ・ベーデン・ポウエルの奉仕精神を後世に受け継いでいくために、第 23 回世界会議（1978 年イラン）で設けられたもので、子どもたち主体の地域活動に対して世界連盟が贈る唯一の賞。3 年に 1 回の世界会議に合わせて発表され、今回応募のあった 20 ヶ国の候補から、9 プロジェクトが受賞した。

●受賞したプロジェクト「ミャンマー・スタディーツアー」

平成 19 年度からミャンマーの子どもたちの自立支援を目的に実施しているガールスカウト大阪府支部のプロジェクト。年に 1 度、高校生や大学生が中心となって、ミャンマーの児童養護施設を訪れ、現地の同世代の少女たちとの話し合いや交流を通じて歯磨きや手洗いなどの衛生面の指導を行っている。日本では HIV 患者の薬代やサイクロン被害者に寄付するために高校生企画による募金活動（約 47 万円）をおこなう他、音楽を通して心を育むことができるよう電池のいらぬ鍵盤ハーモニカを収集・寄贈したり、乳児死亡率減少のためにエコキャップを収集して 388 人分のワクチンを送るなど、国内活動にも重点をおいている。

5 年目となる今冬も現地に向かう派遣団 10 人の研修が始まっており、フリーマーケットの収益金で井戸を寄贈することを計画している。また、過去にツアーに参加した高校・大学生らは、現地の体験や学んだことを国内で伝えるため、さまざまな場で報告会などを実施している。現地のモニタリングから、今後もニーズにあわせてミャンマーの子どもたちの自立支援を行っていく。

●「ミャンマー・スタディーツアー」の歩み

ガールスカウト日本連盟の事業として 2005 年～2008 年までミャンマー難民の子どもたちへ文具類を届ける『ピースパックプロジェクトⅡ』に取り組んだことをきっかけに、大阪府支部で独自に 2007 年度から 10 年計画でミャンマー・スタディーツアーをスタート。ミャンマーの子どもたちと同世代の日本の少女たちが主体となって活動を展開し、お互いに成長できる支援を目指す。



■本件に関するお問い合わせ

（社）ガールスカウト日本連盟大阪府支部（担当：宇田）

TEL：06-6648-5757

E-mail：gsosaka@nifty.com

HP：http://homepage3.nifty.com/gsosaka/

■ガールスカウト日本連盟について

URL：http://www.girlscout.or.jp/